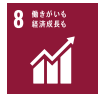


# 労働安全衛生、保安防災

～ ISO26000 7つの中核課題:環境 ～



## ▶ 基本的な考え方

保土谷化学グループは、「労働安全衛生は生産活動の原点である」ことを最優先とし、ゼロ災害に向け、安全衛生関連諸法令の遵守を徹底しております。

労働安全衛生、保安防災を推進するため、関連諸法令に基づいた保土谷化学グループが行うべき基本事項を、「安全衛生管理規程」「防災規程」および「物流安全管理規程」に明記しております。

## ▶ 労働安全衛生の取り組み

「安全衛生管理規程」は、全従業員の労働災害ならびに健康障害を防止するための、安全衛生管理に関する基本事項を定め、労使が協調して職場における全従業員の安全と健康の確保とともに、より快適な作業環境の形成を促進しながら作業遂行の円滑化を図り、生産性の向上に資することを目的としております。

また、2012年2月3日に発生した、横浜工場の火災事故における教訓を風化させず、安全文化の向上を目指し、安全な事業体制の構築を、グループ全従業員で共有するため、毎年2月3日をグループ「安全の日」としております。

## ▶ 操業における安全の確保

「地域・社会に対して、環境保全を含む安全・安心を提供する」ことを基本として活動しております。「無事故・無災害」に向けた取り組みの強化として、全従業員への「安全意識」の浸透および危険を感知する「感受性」の高揚に努めております。従来からのKYT(危険予知訓練)およびPYT(プロセス異常予知訓練)活動の継続、事業所内での安全パトロール・3S(整理・整頓・清掃)巡視、事業所間での相互視察を行い、安全意識の向上に努めております。また、RC活動内部監査では、5ゲン主義(現場・現物・現実・原理・原則)での活動へ展開し、メカニズムや法則の原理、物事の決まり事や規則などの原理を含めた安全対策、安全教育を展開しております。

2019年度は、2018年度に引き続き、各施策の取り組み強化を継続することにより「事故・災害」の発生件数は減少傾向を維持し、休業災害の発生もありませんでした。

### ■ 休業災害の発生状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5ヵ年平均
発生件数(件)	2	1	4	0	0	1.4
被災者数(人)	2	1	4	0	0	1.4
休業災害度数率	1.90	1.00	3.90	0.00	0.00	1.36

・休業災害度数率とは、100万労働時間あたりの被災者数の発生頻度であり、以下の式によって算出されます。  
 度数率=被災者数/延労働時間数×1,000,000

## ▶ 緊急時の対応

「防災規程」では、緊急時の連絡通報、組織編成や緊急時に備えた教育訓練などの対応が定められております。教育訓練は、事業所内における事故発生などの緊急時に迅速な対応が取れるように、定期的な防災訓練、消火器訓練、消防署と合同の救急救命訓練などがあります。

また、各工場は地域の消防防災操法大会に積極的に参加しております。2019年度は、郡山工場は郡山地区「自衛消防操法大会」に、横浜工場は鶴見区「自衛消防隊操作法技術訓練会」に、南陽工場は周南地区「防災競技救急操法大会」に出場しました。工場の若手社員を選手として選抜し、消防操法の習得と同時に緊急時の対応として落ち着いて素早く行動ができるように指導しております。



郡山工場



横浜工場



南陽工場

## ▶ 物流安全への取り組み

「物流安全管理規程」では、グループの製品等に関わる物流における事故・災害の防止と事故・災害発生時の措置についての基本事項を定め、物流関係者をはじめ地域住民の方々への安全・健康を確保するとともに地域環境の保全を図ることを目的としております。万が一、危険物の輸送時に事故が起きた場合に、適切に対処することができるよう、措置、通報情報等を記載したイエローカード※1を輸送業者に対して交付するなど、安全対策を講じております。

保土谷ロジスティクス株式会社では、危険物、化学品、医薬品の取り扱いをはじめ一般貨物、低温貨物等あらゆる製品等の物流において、委託している物流協力会社との輸送安全協議会、SP(ストックポイント)※2会議、各種安全講習会を開催し、SDS(安全データシート)※3、安全関連情報の共有化やイエローカードの携行等の安全活動を行っております。

また、危険物の輸出時の安全活動として、製品ラベルやSDSを輸出先の公用言語化するなど、グローバルな安全対策を講じております。

※1 イエローカードとは、危険物輸送時の事故に備え、事故発生時の応急処置や災害拡大防止措置等を記載したものです。

※2 SP(ストックポイント)とは、製品を配送するための流通拠点であり、海上輸送と陸上輸送の中継を行う施設です。

※3 SDS(安全データシート)とは、化学物質および化学物質を含んだ製品を他の事業者へ譲渡・提供する際に交付する化学物質の危険有害性情報を記載した文書のことで。

## Voice



南陽工場  
貞森 夕輝

### 若手従業員を中心とした防災研修会

2019年2月、周南地区保安防災協議会が主催し、近隣の工場から100名近くが集う「若手従業員を中心とした防災研修会」に参加しました。

研修会では、高所作業の際の墜落制止用器具について、正しい取り扱い方を学びました。フルハーネス型墜落制止用器具を使用するのぶら下がりを実際に体感・体験すると、安全衛生保護具の大切さを肌で感じることができ、貴重な経験となりました。

今年も参加予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止となってしまいました。今後も継続して防災研修会へ参加することによって、若手従業員の安全意識の向上につながり、「安」心を「全」員で掴むことのできる工場になると確信しています。